

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 2月号
令和5年 2月16日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下隆久

卒業式って何?

毎年この時期になると、「卒業式」をどのように行うか、どのように準備していくか考えます。3年生にとって中学生の最後をどのように締めくくることが良いのだろうかと考えます。

正面玄関の花壇づくりなど、すでに3年生を送り出すための準備が1・2年生や教職員の中では始まっています。その柱が「卒業式」です。正式には「卒業証書授与式」と言い、卒業証書を授与する式典です。この行事は、学校教育の仕組みができあがった初めからある伝統行事です。これまで連綿と続いてきた、いってみれば学校の歴史そのものです。卒業証書の番号がそのあらわれの一つです。嬉野中学校今年度卒業生は10407人目から始まって10500人を突破します。保護者や地域の皆様の中には、その一人だという方もいらっしゃるはず。その積み重ねの先に今年の卒業生が巣立ちます。

今年度も、来賓の方々には列席をご遠慮いただきますが、地域の皆様にとっては地域で育てた子どもの晴れ姿を、保護者の皆様にとっては我が子の成長を確認する場です。このような意義を持つ行事は他にありません。したがって学校の最大行事と考えています。

学校での指導は、「中学校を卒業する成長した姿」という“型”を示す必要があると考えて準備します。卒業生はその目指す姿を理解し、それを全力で表現するのです。立ち居振る舞い、身だしなみ、返事、ことば、合唱等、その全てに全身全霊を込める行事なのです。私は卒業生に、とびっきりの返事を要望します。それはなぜか、ぜひ一人一人に考えてもらい、答えを出してほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今後とも引き続き、嬉野中学校の諸活動へのご理解と温かなご支援をお願い申し上げます。

嬉野中HPアドレス <http://www.ureshino-matsusaka.com/ureshino/>



「赤い羽根共同募金」たくさんの人の笑顔のために！



戦後間もない昭和22（1947）年に市民主体で戦後復興の一助として「赤い羽根共同募金」運動が始まりました。社会の変化の中、この共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、様々な地域福祉の課題解決に取り組む人たちを応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれています。嬉野中学校でも福祉ベルマーク委員会

が中心になって募金活動に取り組み、6,324円を社会福祉協議会嬉野支部の方にお渡ししました。募金へのご協力ありがとうございました。



文化体育活動表彰

- 松阪市科学作品展 【特選A】杉浦実桜 【特選】前川綾菜、前田千依里
- 松阪市納税ポスターコンクール 【入選】工藤梨紗
- 読書感想文松阪地区コンクール 【最優秀】鈴木美咲 【優良】吉原花香、本多希咲、金児奈々里、田中晴子 【佳作】山中神楽、丸山玲依
【校内入選】米田健人、今川美来、中西隼都、渡邊優楓、戸島柊人
山本 雅、青木かすみ、林 勇佑、西口青衣
- 第51回三重県小中学校競書会 【特選】奥山佳音、金児奈々里
元座こころ、西口青衣、村林歎奈、浅原柚乃、湯浅仁瑚、鈴木俊貴
灘つぼみ、藤田侑華、澤井楽風、田川陽彩、宇留田七海
【一等】藤田琴葉、早川旺甫、鈴木愛琉、多賀陽彩、富永実和
- 第90回全国書画展覧会 【特選】金児奈々里、藤田侑華
【金賞】奥山佳音、村林歎奈、浅原柚乃、加藤万裕、鈴木俊貴、灘つぼみ、澤井楽風
石原悠之介、小畑美波、加藤愛弓、田川陽彩、宇留田七海
【銀賞】藤田琴葉、湯浅仁瑚 【銅賞】宮下穂乃花
- 全国BMX フリースタイル選手権大会 Exhibition 中学生女子 【第3位】杉本実紅
- 育成会すこやか標語コンクール 【最優秀賞】福嶋ひなこ 【優秀賞】本田颯大
井上惺介、菅生大椰、西井あこ、小森菜槻
- 育成会家庭の日絵画・ポスターコンクール 【優秀賞】戸島柊人
- 第10回三重県小中学生体操競技大会男子Aクラス個人総合 【優勝】奥田悠心
- 松阪市明るい選挙啓発ポスターコンクール 【努力賞】福浦美咲、金児奈々里



やればできるDAY! 2.10

「一生ワクワクし続けるのに大事な2つの事」

(株)鈴いん探偵舎代表取締役 奥山 夢菜さん



奥山さんの「わたしは嬉野のこと好きなんです。」という言葉で始まった講演会。「どんな自分が好き？」という私たちへの問いかけのあと、「まちがわなない事」が大切にされた時代から「自分で考える事」が大切にされる時代に変化していることを教えていただきました。そんな未来を生きるために必要な2つの事、①「自分の」ワクワクに正直になる事、②たくさんの人を巻き込む事と伝えていただきました。ご自身の思春期時代に

悩んで不登校になった事やワクワクに正直なかついていい人との出会いで今がある事などのご体験も伝えていただきました。

後半は、本校卒業生の松井京介先輩にも登場していただき、ウィッシュリストを全校みんなでシェアしました。最後は、生徒代表で瀧本祥真会長から「間違ってもいいんだと思えました。これからは活かします。」と締めくくられました。



「失敗」をどう料理するかは自分次第

奥山夢菜さんの言葉より